

獣医師が行うのでワンちゃんに安心・安全。

4&2

獣医師による無麻酔歯石除去

～安心・安全を約束する3つのこだわり～

診察

獣医師が施術前に診察を行い、ワンちゃんの体調を見ながら処置をします。無麻酔での処置なので、定期的なケアで良好な状態を維持できます。

プランニング

獣医師が歯や歯肉の状態を診察し、歯石除去の治療方針をプランニングします。その子に合ったデンタルケアで、口腔環境全体の健康をサポートします。

ワンストップ

診察時の歯肉炎などの状態によっては、獣医師による処置後にワンストップで内服薬を処方することもできるので、治療がスムーズです。

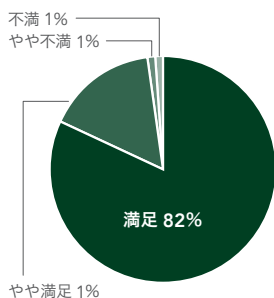


無麻酔歯石除去の流れ



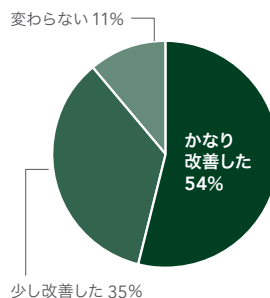
お客様の声

総合的な満足度は？



約8割のお客様が、歯石の取れ具合や仕上がりに満足。

口臭の改善になりましたか？



約9割のお客様が、口臭の改善を実感。

※2011年 株式会社西武ペットケア調査

Q&A

- Q. 家でハミガキが出来ません。歯石取りは出来ますか？**
A. お家でハミガキが出来ていないワンちゃんは「お口を触られる事に慣れていない」「歯肉炎がひどくて痛い」等の理由で嫌がり、出来ない場合があります。そういう点では普段からハミガキしているワンちゃんの方が歯石除去出来る可能性は高いですが、無麻酔の処置ですので当日のワンちゃんの機嫌次第といえます。
- Q. 何かに1回くらい歯石取りをすればよいですか？**
A. 歯石の付く早さに個体差があるので、ワンちゃんにより異なりますが、最初の処置をしてから、だいたい3か月後の再診をお勧めしています。その時の付き具合で次の処置の目安をお知らせしています。毎月トリミングと一緒にポリッシングのケアに通われる方も多いです。
- Q. 持病がありますが、歯石除去は出来ますか？**
A. 病気の種類・その時のワンちゃんの状態によってはお受けできる場合もありますのでご相談ください。
- Q. 麻酔をかけて歯石取りをしたことがあります。しかし、もう高齢なので麻酔をかけられないとかかりつけの先生に言われました。無麻酔なら安心なのでそちらでお願いしようと思っていますが、何歳でも出来ますか？**
A. 処置の前に健康状態を確認しますので、特に問題がなければお受けできます。持病のあるワンちゃん・お薬を飲んでいるワンちゃんは事前に申告してください。
- Q. シーズーを飼っています。短頭種は出来ないと聞きましたが、うちの子は本当に大人しいのでやって頂けませんか？**
A. 短頭種、日本犬種など基本的にはお断りさせて頂いていますが、どうしてもチャレンジしたいという方はご相談ください。
- Q. 歯の裏側は取れますか？**
A. 人間と違い、お口を開けたままの状態ですべて保つことが出来ないの裏側は処置できません。歯石の取れる範囲は個体差により異なりますが、見える範囲、出来る範囲での処置になります。無麻酔のため、ワンちゃんの機嫌によっても大きく左右される処置だということをご理解ください。

料金表はこちら



注意事項

- 歯石の沈着が重度で歯槽膿漏が併発している場合、抜歯などの全身麻酔が必要な場合は、無麻酔での歯石除去ができないことがあります。
- 性格的に難しいワンちゃん(口を触らせてくれない、ストレスから呼吸がうまくできずチアノーゼを起こすなど)や、一部の犬種(バグやシーズーなどの短頭種)は、施術ができない場合があります。
- 歯石の付き具合や歯肉炎の度合い、当日の体調などにより数回の施術が必要な場合があります。
- ぐっと噛みしめて口を開けてくれない場合は、スケーラーが届かず、完全に取りきれません。
- 裏側や奥歯のくぼみ、歯周ポケットの深いところは、無麻酔での処置ができません。